

社会人聴講生は99歳!

学ぶことで見えてくるものがある

2012年度、桃山学院大学には500余名の社会人聴講生が在籍しています。その中で最高齢は、今年数え年で99歳になられる村川信勝さんです。村川さんが講義に臨む姿は、勉学の熱意にあふれていると教授陣も称賛しています。「学ぶ気持ちが大切」とおっしゃる村川さんの原動力をお聞きました。

Talk session

社会人聴講生 エクステンション・センター長
村川 信勝さん × 小池 誠

長年の夢がかない、まず日本史を学ぶ

小池 93歳になられた2007年から、桃山学院大学で社会人聴講生として学ばれていますが、きっかけはどんなことだったんでしょうか。



村川 以前から大学で勉強したいと思っていましたが、直接のきっかけは、大阪府庁で桃山学院大学の社会人聴講生制度のパンフレットを見たことでした。私らの若い時代は、よほど優れているか、裕福でなかったら、高校や大学へ進めませんでした。私は、夜間学校なら親も進学させてくれるだろうと思い、独学で編入試験を受けて商業学校に合格したのですが、父は許してくれませんでした。だから、現役を退いたとくに勉強し直したいとずっと考えていました。

の若い時代は、よほど優れているか、裕福でなかったら、高校や大学へ進めませんでした。私は、夜間学校なら親も進学させてくれるだろうと思い、独学で編入試験を受けて商業学校に合格したのですが、父は許してくれませんでした。だから、現役を退いたとくに勉強し直したいとずっと考えていました。

小池 お仕事は何をされていたのですか。

村川 ずっと紳士服の縫製工場に働いていました。定年後も親会社の要請で、技術指導を85歳までやって、ようやくリタイアです。

小池 その後、長年の夢がかなったわけですが、最初に日本史を選択されていますね。これは何かお考えがあったのですか。

村川 この年で今さら経営学をやっても仕方がありません(笑)、まずきちんと歴史を学ぶべきだろうと思いました。それには私自身の戦争体験が大きく影響しています。私たちが小学生のころに学んだ国史は、非常に偏ったものでした。もちろん、

ん、当時はそんなことを知るよしもありません。でも、そういう歴史認識が国を戦争に駆り立て、私たちも当然のように戦場に向かったのだと思います。

歴史を学んで知った戦争の背景

小池 村川さんはビルマ戦線で、生きるか死ぬかの経験をされたわけですね。

村川 最初は千数百人いた兵隊が最後は120人ほどになりました。砲弾の直撃を受け、真ん中にいた私だけが助かり、生きてい



エクステンション・センター長

小池 誠

ていいのかと悩んだこともあります。敵は「鬼畜米英」と教えられていましたが、捕虜のイギリス人を見ていて、どこが鬼畜なんだ、日本人と同じ人間じゃないかと、改めて思い込みの怖さを教えられました。終戦後、船で帰国することになりましたが、船が瀬戸内海に入り、鳥影を見て初めて日本に帰って来られたんだと実感しました。大阪の実家には夜中に辿り着いたので、両親は幽霊かと思ったそうです(笑)。

小池 そうした実体験の背景が、歴史を学ぶことによってわかったわけですね。

村川 わかりました。そしてアメリカ文化や戦争の世界史、国際政治史を学ぶことで、国力の違うアメリカと戦争を始めた無謀さや、各国の利害のぶつかり合いで戦争になってゆく背景を知ることができ

きました。そうした知識を得ることが、戦争を回避する第一歩だと思います。

生涯勉強を続けたい

小池 勉強のほかに何か趣味でなさっていることはありますか。

村川 カメラが趣味で、風景や夕陽を撮り歩いています。馴染みのカメラ屋さんに、最新型のデジタルカメラに替えようかと相談したら、「あんたの年じゃ無理、やめときなはれ」と言われましたけど(笑)。

小池 最後に、一緒に学んでいる今の若者を見て、どう思われますか。

村川 素直で真面目な学生が多いですね。ただ、もう少ししゃんとしてほしいと思うところはあります。この瞬間は二度と来ないし、講義には大切なお金もかかっていることを思えば、目の色も違ってくるはず。学ぶことは楽しいし、私は生涯勉強を続けようと思っています。

小池 今日は講義後でお疲れのところ、どうもありがとうございました。

村川さんを紹介したもうひとつの記事がエクステンション・センターホームページに載っています。
「桃山学院大学」+「村川さん」で検索してください。



何かを始めるのに年齢なんて関係ありません。みなさんががんばってください!

エクステンション・センターについて

エクステンション・センターは、学生のみならずの多様な学習ニーズに応じて、また、大学と社会・地域との連携を強めるため、4つの活動に取り組んでいます。

1. 本学学生・一般市民向けに、「司書講習」の開講。
2. 本学学生・一般市民向けに、福祉分野、情報分野、法律分野等のさまざまな「資格・技能講座」の開講。
3. 社会人聴講生制度を設け、「正課科目」一部の聴講受け入れ、ならびに「社会人向け科目」の開講。
4. 一般市民向けに、「公開講座」や「セミナー」の開講。

無限の可能性を開花させ、夢の実現に向かっていくみなさんのために、エクステンション・センターが少しでもお役に立てれば幸いです。